

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	令和3年度 第1回鴻巣市総合教育会議		
開催日	令和3年5月11日(火)		
開催時間	午後4時00分 開会 ・ 午後4時31分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 303会議室		
議長氏名	鴻巣市長 原口 和久		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	鴻巣市長 原口 和久 【教育委員会】 教育長 望月 栄 教育長職務代理者 加藤 幸弘 委員 中山 裕子 委員 斉藤 敬 委員 太田 恭子 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
執行部及び事務局 職員職氏名	【市長部局】 市長政策室長 佐々木 紀演 市長政策室副室長 藤崎 秀也 市長政策室参事兼総合政策課長 武田 昌行 【教育委員会】 教育部長 齊藤 隆志 教育部参与 大島 進 教育部副部長兼学務課長 宮野 和幸 教育部参事兼教育総務課長 鳥沢 保行 教育総務課副主査 新井 洋平 教育総務課副主査 渡辺 千恵 【事務局】 総合政策課主査 篠原 貴光 総合政策課主任 大島 悠志		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (0名)		
会議の内容	(協議事項) 1 笠原小学校区の通学区域について 2 市内小・中学校の適正規模及び適正配置に関する今後の考え方について 3 笠原小学校跡地利活用の今後のスケジュールについて (決定事項など) 協議事項1については、鴻巣市立小・中学校通学区域審議会から教育委員会に提出された「笠原小学校が通学区域となっている地域の通学区域の見直しについて」の答申内容について説明があり、次のような意見交換がされた。 ・今後の就学手続き等に関して、笠原地域の児童生徒及び未就学児の保護者に周知していく。 協議事項2について、今後も児童・生徒数が減少傾向にあることから小・中学		

	<p>校の適正配置等の検討を進めることは喫緊の課題であり、羽生市や熊谷市など近隣自治体の取り組みを参考にしながら、本市の実情に合わせた小・中学校の適正配置等に関する具体的な方向性を定めていきたい旨の説明があり、次のような意見交換がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来的な児童数を見込んで、国が示している標準学校規模校、適正規模校と言われる1学校12から18クラスを目指して取り組んでいく。 ・ 通学区域が入り組んでいる場合や学校の建物の老朽化など複合的かつ総合的に適正規模・適正配置を検討していく。 ・ 今年度に鴻巣市立小・中学校のあり方研究懇話会を開催し、懇話会で出された意見を基に鴻巣市立小・中学校適正配置審議会へ諮問する案を作成する <p>協議事項3について、庁内検討委員会でとりまとめた報告書概要、笠原小学校跡地利活用の基本方針、令和3年度以降のスケジュールについての説明があり、次のような意見交換がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の意向を把握するために実施するアンケートは事業者がこれまでに同様の業務で実施した内容を参考に回答しやすい内容とする。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度鴻巣市総合教育会議 次第 ・ 【資料1】 笠原小学校が通学区域となっている地域の通学区域の見直しについて（答申） ・ 【資料2】 笠原小学校区における各種就学手続きについて ・ 【資料3】 羽生市広報1月号「特集 未来の子どもたちのために」抜粋 ・ 【資料4】 熊谷市教育委員会「学校の適正規模化について」抜粋 ・ 【資料5】 笠原小学校跡地利活用に向けて

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。